

マラヤ大学(UM)留学案内

東條哲郎²

0.はじめに

本稿では、マラヤ大学(Universiti Malaysia (UM)、<http://www.um.edu.my>)に留学する際の申請方法や手続きなどを説明した上で、留学中の滞在施設などについても簡単に触れることにしたい¹。

1. 留学資格

1.1 交換留学生 (Exchange Student)

日本の大学の中には、マラヤ大学と交換留学の提携を結んでいる大学ないし学部がいくつか存在している。交換留学の場合、費用の面で個人留学よりも有利な点が多い。この場合、手続きは所属する大学ないし学部を通じて行なわれるため、所属大学・学部にお問い合わせ頂きたい。

1.2 訪問留学生(Visiting Student)

自分の大学に交換留学の制度がなかったとしても、マラヤ大学への留学は可能である。その場合は、私費ないし奨学金を探しての留学となる。マラヤ大学では、留学に関する手続きは国際関係課 (International Relation Unit/ Unit Hubungan Antarabangsa)が一括して行なっている。同課の連絡先は以下の通りである。

International Relation Unit,

Universiti Malaya,

50603 Kuala Lumpur

Tel: +60(0)3-7967-4677/4649/4650

Fax: +60-(0)3-7967-4678

E-mail: interel@um.edu.my

留学申請書の提出締め切りは、第1学期が2月1日、第2学期が9月1日となっている。そのため同課へのファースト・コンタクトは、その1~2ヶ月前までに行なう必要がある。

ちなみにマラヤ大学には毎学期15人前後の日本人の学生・院生が留学している。

2. 留学中のコース

マラヤ大学へ留学する場合、以下の4コースが用意されている

(1) 正規学生・院生 (Regular academic undergraduate or postgraduate courses)

(2)文化・芸術・スポーツなどの正課併設コース (Co-curriculum courses; practical courses in the areas of culture, arts and sports) (説明省略)

(3)個人研究コース (Supervised independent research)

(4)語学コース (Language course)

ただし(4)は(1)ないし(3)と並行して語学能力

¹本稿執筆にあたり、国際関係課長 Associate Professor Dr. Khoo Boo Teongを始め、同課のスタッフの方に多くのご協力を頂いた。この場を借りて感謝申し上げたい。

² 東京大学人文社会系研究科博士課程、マラヤ大学訪問研究生(Visiting Research Student)。

の向上を目指すためのものであり、(4)のみでの留学は認められていない。

2.1 正規の学生として留学する

2.1.1 学部生・大学院生として一定期間留学する

正規課程の学生として留学し、単位の修得を目指す場合、マラヤ大学の学期に従って一定数の授業を取る必要がある。同大学は、6月第1週～10月最終週の1学期(Semester1)と、11月第1週～2月第2週の2学期(Semester2)という2学期制度をとっている。

単位取得を目的として留学する場合、留学期間は基本的に1学期ないし1年間となる。具体的な単位登録方法などについては、留学申請の際に国際関係課から必要な書類が送られてくるので、それに従って頂きたい。なお、学部の授業はマレー語が中心となる。マレー語ができない場合、英語で教授する授業を取ることもなるが、その選択肢は大幅に減る。授業料は登録単位ごとに支払い、さらに手数料などが加算される。

2.1.2 大学院の正規課程に入学して修士号・博士号の取得を目指す

マラヤ大学の大学院課程に正規で留学する場合、国際交流課と同時に、大学院課(Institute of Postgraduate Studies/ Institut Pengajian Siswazah)と連絡を取る必要がある。同課の連絡先は以下の通りである。

Institute of Postgraduate Studies,
Universiti Malaya,

50603 Kuala Lumpur

Tel: +60-(0)3-7967-4677/4649/4650

E-mail: unitmas@um.edu.my

留学を申請するために必要な申請書類やその説明などは、全て同課のホームページ <http://ips.um.edu.my> からダウンロードすることができる。申請書類に関しては、同ホームページで詳しく説明されているため、ここでは説明を省略する。

2.2 研究生として留学する

大学院生でマラヤ大学に留学する場合、研究生として大学に籍を置き、マラヤ大学の教官の指導を受けながら調査・研究を行なうというケースが多い。研究生として留学する場合、所属研究科と指導教官を先に決めておく必要がある。実際には、指導教官を日本国内の専門家の方や同大学留学経験者に紹介して頂き、その教官の所属する研究科に籍を置く形となるであろう。

なお研究生の場合、授業を取るかどうかは個人の裁量に任されており、授業を受ける場合には国際関係課を通じて申請を行なうこととなる。

2.3 語学の習得

マラヤ大学では、The University of Malaya Centre for Continuing Education (UMCCed)が留学生向けの語学コースを開講している。語学コースは英語とマレー語があり、それぞれ初級・中級・上級の3段階に分かれている。1コースは3ヶ月間、週2回、1回4時間で、

計 100 時間受講することになる。開講月は 3 月、7 月、11 月となっているが、申請状況に応じて開講月が変化することもあり、実際はかなり変則的であるため注意が必要である。2005 年 2 月現在、外国人の授業料は 1 コース 1500 リンギである。コース終了時の試験に合格すると、通常の単位と同様、単位取得証明書を受け取ることができる。

語学コースに関する問合せ先は、以下の通りである。

University of Malaya Centre for Continuing Education,

A Block, Level 3,

University of Malaya City Campus,

Jalan Tun Ismail,

50480 Kuala Lumpur

Tel: +60-(0)3-2617-3111

Fax: 603-2617-3120/3103

E-mail: umcced@um.edu.my

3. ビザの取得関係

留学申請が大学に受理されたら、ビザの取得手続きに移る。ビザには、就学パス(Student Pass)とプロフェッショナル・パス(Visit Pass (Professional))がある。これらは入国管理局(Immigration Department)から発給されるが、マラヤ大学に留学する場合は個人で申請せず、同大学の国際関係課を通じて申請する。どちらを申請するかは、マレーシアおよびマラヤ大学の留学目的を同課に説明すれば、同課が判断し

てくれる。

大学で受講し、調査許可証(Research Pass)が必要ない研究・調査機関のみを利用する場合、一般に就学パスを取得する。この取得手続きはマレーシア入国後に行うが、マレーシアに入国するために入国ビザ(Entry Visa)を日本で取得しておく必要がある。これは在日本マレーシア大使館で発給され、必要書類が揃えば簡単に取得できる。ただし書類はかなり煩雑であるため、早めに準備しておいた方がよい。入国ビザを取らずにマレーシアに入国し、就学パスを申請することも可能だが、その場合 500 リンギ課金される。就学パスは学期ごとに更新する。

大学で受講せず、国立文書館など調査許可証が必要な機関で調査・研究を行う場合、一般にプロフェッショナル・パスを取得することになる。調査許可証は各自で Economic Planning Unit に申請するが、プロフェッショナル・パスは国際関係課を通じて申請する。これは、長期滞在の条件がマラヤ大学訪問研究生という身分となるためである(個人での申請方法は「調査許可証とプロフェッショナル・パスの取得方法」の項を参照)。

4. 滞在先・生活費など

マラヤ大学に留学する場合、大学内の寮に住むか、大学外に部屋を借りるかの 2 通りが考えられる。前者の場合、国際関係課ないし所属予定の研究科・学科に問い合わせることとなる。だがこれらの部局が空室状況を把握していない場合

もある。各寮の事務室に直接赴いて、入寮手続きを行うことも可能だ。寮では相部屋となることが多く、相部屋の場合、寮費は月 320 リンギ前後である。

大学の外にも様々な滞在施設がある。一例として、現在執筆者が住んでいる Millennium Court がある。この施設はマラヤ大学の敷地隣にあり、個別の大学からは独立しているものの、寮という形式を取り、近隣の各大学の学生や語学学習を目的とした留学生が生活している。1 人部屋の家賃は月 630 リンギで、学内の寮より割高だが、諸設備は学内の寮よりも充実している。

国際関係課によると、クアラルンプールで生活する場合、滞在費以外の交通費・食費などの生活費に 800 ~ 1000 リンギかかるとのことだ。それ以外に、文献購入費や複写費用などが必要となる。

本稿で記した内容は、年度ごとに変更される点が多いのでその点にはご留意頂きたい。本稿が、マラヤ大学留学を希望する方への一助となれば幸いである。